

今週のビルマのニュース 2010年11月12日【1042号】

「総選挙」で軍の翼賛政党が勝利ということに

・7日、軍政が計画していた総選挙の投票が行われた(少数民族居住地域の一部を除く。また公務員や軍関係者等は事前に投票)。全体の結果の公式発表はされていないが、軍政が支援する連邦団結発展党(USDP)が圧勝する見込み。全体の投票率は不明。

・選挙期間中や開票時に、USDPへの投票を確保するための脅迫や買収等の不正があったとする報告が全国から相次いでいる。総選挙への参加を拒否した国民民主連盟(NLD)はアウンサンスーチー氏の指示を受け、不正を調査する委員会を設置。NLDから分裂して選挙に参加した国民民主勢力(NDF)も、不正の指摘について選管委が説明するまでは選挙結果を認めないよう他党に呼びかけた(各通信社、イラワディ、ミジマ、DVB等)。

国連や各国政府の見解は

・選挙実施への国際社会の反応は次の通り。国連事務総長は「透明性が不十分」(10日報道官会見)、米大統領は「自由でも公正でもなく、根本的に欠陥のあるプロセスに基づいていた」(7日声明)、日本は「[日本の働きかけ]にもかかわらず自由・公正で開かれた選挙が実現しなかったことは誠に残念」(7日外務報道官談話)、ASEAN議長国のベトナムは「『民主化に向けたロードマップ』実施への意義深い一歩」(8日声明)、中国外務省は「平穏で順調だった。歓迎する」(9日記者会見)。

「日本は選挙結果を認めないで」と在日ビルマ人

・6日と7日には東京のビルマ大使館前に延べ1,200人の在日ビルマ人民主化活動家と支援者が集い、選挙の中止と政治囚の釈放を求め、日本政府に選挙結果を受け入れないよう訴えた。同様の抗議行動が世界各地でも行われた(7日ビルマ市民フォーラム)。

タイ国境近くなどで戦闘、数万人がタイ側に避難

・8日からタイ国境に近いカレン州のミヤワディとモン州のパヤートンズー(スリーパゴダズパス)で国軍と少数民族勢力との戦闘が起き、数千人から数万人の住民がタイ側に避難した。大半はビルマ側に戻ったが、国境の情勢は不安定なまま。このほかカレン州のチャインセイチーとシャン州中央部でも国軍による攻撃があった(DVB、タイの英字紙、シャン・ヘラルド、米国ビルマ・キャンペーン等)。

アウンサンスーチー氏解放の可能性

・13日に自宅軟禁期限が切れる予定の民主化運動指導者アウンサンスーチー氏について、BBCなどによれば軍政が氏の釈放を命じる書類を発行した。釈放に条件がついているか等詳細は不明。また氏が12日午後にも解放されるという憶測が広まったため、氏が率いる国民民主連盟(NLD)のラングーン(ヤンゴン)の本部前には数百人の指導者が集まり解放の知らせを待った(12日BBC、AP)。日本時間の12日21時現在、解放は確認されていない。

注目のアイテム

TBS ラジオ Dig 「20年ぶりの総選挙で軍事政権が圧勝へ。ミャンマー(ビルマ)は今後どうなる？」(ポッドキャストあり) <http://www.tbsradio.jp/dig>

イベント情報

・仏教国ビルマ アウンサンスーチーと彼女を支えた家族の写真展 ビルマ応援の会主催(京都市・西本願寺 聞法会館1階ロビー、14日まで、9~20時。最終日は17時まで)

・アウンサンスーチー氏の解放を求める要請行動 在日ビルマ人民主化活動家のみなさん(在日ビルマ大使館前、13日14~16時)

・ビルマ市民フォーラム例会『ビルマ総選挙はいかに? 現地最新情勢と解説(仮)』根本敬(上智大学教授)・ティンウィン(在日ビルマ市民労働組合代表)(南大塚地域文化創造館、13日18時~)

・第7回 NAGANO 映画祭「ビルマ VJ 消された革命」上映、ゲスト山本宗補さん(フォトジャーナリスト)(長野ロキシー会場、13日18時45分~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165